

なめがたでキラリ輝く「ひと」

行方市商工会が平成21年度に開発した「行方バーガー」。観光物産館こいこいで販売しています。



おおひら しょういち 大平 昭市さん (46歳)

Profile

イルミネーションフェスティバル「なめがた冬物語 in 2018」実行委員。行方市商工会員の仲間たちと共に、地域の盛り上げ役として多方面で活躍中。大平漬物食品代表。吉川在住。

霞ヶ浦と北浦に挟まれた風光明媚な「武湖の国」行方。行方市商工会では「ふたつの大湖に挟まれし美味し国のおもてなし」として、特産品「武湖の国」ブランドを推進しています。特産品開発に、当初から携わっているのが、地元で漬物店を営む大平昭市さんです。特産品の一つ、ここ行方市でしか味わえない「行方バーガー」は、なめパッコン（なまず）、ぶたパッコン（豚メンチ）、鯉パッコン（コイの甘煮）、かもパッコン（かも肉）の4種類。地元食

材をふんだんに使用した行方グルメです。今年のイルミネーションフェスティバル「なめがた冬物語 in 2018」では、大平さん発案の「なめパッコンプレミアム」が初登場！大食い大会を実施し、会場を盛り上げます。「販売開始から10年が経ち、さらに行方市をPRしたいと一念発起し、今回のプレミアム版が完成しました」と大平さん。テントでも販売しやすいようにと工夫を凝らしています。

「行方市の名物といえば行方バーガーというくらい知名度があると思います。プレミアム版をきっかけに、さらに地域が盛り上がりげば、若者たちが市外に出て行ったときのふるさととの自慢を作ってあげたいですね」とニコリ。日頃から大平さんは、仲間と共に地域を元気にするさまざまな活動をしています。商工会員の仲間たちと結成した「芹沢ひろしとカープファイブ」は、市内外のイベントや介護施設などで、メンバーの歌声を楽しみに待っている人たちが大勢います。なめがたエリアテレビの番組「カープチャンネル」では、笑い

を交えた内容で、編成から出演までをこなしています。「地域の皆さんと関わりを持って自分が楽しんでやることが、地元経済の発展につながっていくと思います。今後は番組で、2つの湖や市の歴史についても紹介したい」と意欲を見せます。「地域振興というところ堅苦しくなりがちですが、笑いの中でみんなが活動できたらそれだけで楽しくなるし、地域が盛り上がりますね」。これからも、大平さんの活躍から目が離せません。



多彩な活動の一つ「芹沢ひろしとカープファイブ」は、イベントや慰問などの活躍中。

◆なめがた冬物語 in 2018 毎年恒例のイルミネーションフェスティバル。今年は装いも新たに行方の冬の魅力を発信します。麻生公民館および駐車場において、12月1日（土）から12月31日（月）まで点灯中。

スマホでもっと楽しめる！市報なめがた デジタルブック！

▼市報に登場するこのマークに注目！



市報に掲載されていない画像や動画をご覧いただけます。右のQRコードから無料アプリ(カタボケ)でご覧ください。



デジタルブックは10言語に対応



※対応言語：日本語、英語、中国語（繁体字・簡体字）、韓国語、タイ語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語（※ベトナム語は音声読み上げ機能には対応していません。）

「市報なめがた」は、公共施設等にも配置しています。

【市報配布に関するお問い合わせ】

総務課（麻生庁舎） ☎ 0299-72-0811

スマートフォンをお持ちの方は、こちらから市公式ホームページをご覧ください。

